

## 無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究(Δ02)

**目的** 風俗慣習、民俗芸能、民俗技術等無形民俗文化財のうち、近年の変容の著しいものを中心に、その実態を把握するために資料収集と現地調査を行う。また、無形民俗文化財研究協議会を実施し、その成果を報告書にまとめる。さらに、これまで収集・保管してきた無形民俗文化財についての記録・資料の整理を行う。また選定保存技術については、国により選定された技術及び未選定の技術について情報を収集し、その中で重要なものについては現地調査・記録作成を行う。

**成果** 1. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため現地調査を控え、感染症が無形民俗文化財に与える影響について情報を収集するとともに、これまでの調査・記録の整理を進め、映像編集、展示、出版等による研究成果の社会還元を実施した。継続的研究として風俗慣習分野では正月儀礼等について、民俗芸能分野ではシシ系芸能や風流系芸能等について、民俗技術分野として和船製作技術や箕の製作技術等について、伝承や保護の実態についての情報収集を行っている。



コロナ禍で映像配信を行った東京讃岐獅子舞

2. 災害被災地における民俗芸能、風俗慣習の調査として、宮城県女川町北浦地区、福島県浪江町荊宿地区の調査を継続し、女川町北浦地区の民俗誌を作成した。また無形文化遺産総合データベース・アーカイブスの構築とデータ収集を行った。
3. 第15回無形民俗文化財研究協議会「新型コロナウイルス禍における無形民俗文化財」を事前録画・映像配信(2020(令和2)年12月25日～2021(令和3)年1月31日公開)において開催した。8件の事例報告及び5名の登壇者による総合討議を行った。成果は『第15回無形民俗文化財研究協議会報告書』にまとめた。また汐留メディアタワーにおいて展示「箕のかたち—自然と生きる日本のわざ」を開催し、ウェブサイト「箕のかたち 資料集成」を公開した。
4. 選定保存技術については、未選定ではあるが、絹の染織品を制作するのに欠かすことのできない文化財保存技術である絹織製作技術について調査研究を進め、報告書を刊行した。また同じく未選定ではあるが、金工品の制作に欠かすことのできない文化財保存技術である金属煮色着色の技術について、富山県高岡市と東京都台東区で現地調査を行った。

- 論文**・久保田裕道：「民俗芸能を記録する—映像記録の可能性—」『継承される地域文化』臨川書店 pp.157-179 21.3
- ・久保田裕道：「コロナ禍における無形の民俗文化財の現状と課題」『無形文化遺産研究報告』15 pp.11-24 21.3
- 報告**・久保田裕道：「湯立獅子舞の芸態」「湯立獅子舞(湯立神楽)の民俗芸能的特色」『箱根の湯立獅子舞調査報告書』箱根町教育委員会 pp.172-201、294-311 21.3
- 発表**・今石みぎわ：「民俗事例にみる模型—小正月のツクリモノを中心に」科研費基盤B「模する技術の発展と伝統的習俗の変容についての学際的研究」第一回研究会 リモート開催 20.9.5
- ・今石みぎわ：「民俗技術における素材と加工技術—箕を中心に」令和2年度第4回総合研究会 東京文化財研究所 21.1.12
- 刊行物**・東京文化財研究所編『第15回無形民俗文化財研究協議会』 21.3
- ・東京文化財研究所編『おながわ北浦民俗誌』 21.3
- ・東京文化財研究所編『無形文化遺産(工芸技術)の伝承に関する研究報告書 絹織製作技術』 21.3

**研究組織** ○久保田裕道、石村智、今石みぎわ(以上、無形文化遺産部)

## 研究資料データベース(④シ05の一部として実施)

東京文化財研究所が作成、収集した研究資料の画像データやテキストデータを検索・閲覧することができるウェブデータベース。現在、20件のデータベース、10万件余りのデータを公開しており、すべてのデータベースを横断的に検索可能で、一部を除き「東文研 総合検索」からの横断検索にも対応している。  
www.tobunken.go.jp/materials/

## 無形文化遺産部

## インターネット公開「国の選定保存技術 邦楽器原系製造の記録〈短編〉」(①ム01の一部として実施)

国の選定保存技術である「邦楽器原系製造」は、邦楽器の絹糸弦に用いられる特殊な原糸を繰糸する技術である。無形文化遺産部では、この技術を保持団体・木之本町邦楽器原系製造保存会(会長・佃三恵子)の協力を得て2020(令和2)年7月に記録撮影、〈長編〉と〈短編〉に編集し、〈短編〉を2021(令和3)年2月より公開している。

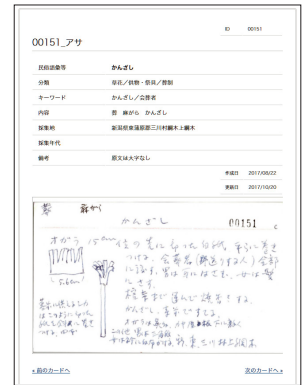


木之本町邦楽器原系製造保存会の繰糸技術

## 無形文化遺産部

## 「齋藤たま 民俗調査カード集成」(①ム02の一部として実施)

民俗学者 齋藤たま氏(1936~2017)が作成した調査カードのアーカイブ。カードの内容は植物、動物、まじない、遊び、言葉などに関わる民俗事例を調査収集・整理したもので、総数約4.7万枚。2017(平成29)年に東文研に寄託された。カード内容の概要、キーワード、スキャン画像などが検索できるアーカイブを2021(令和3)年2月に開設。2021年3月末時点で約8,079件を公開、毎月更新予定。



齋藤たま民俗調査カード集成

## 無形文化遺産部

## インターネット公開「箕のかたち 資料集成」(①ム02の一部として実施)

2020年(令和2)年12月~1月にかけて開催した「箕のかたち—自然と生きる日本のわざ」展にあわせて開設したサイト。民具の「箕」に関する映像等の収集・公開を目的とし、各地の箕に関する14件の映像を公開(2021(令和3)年3月末時点。うち1件は公開期間終了)。14件のうち7件は東文研で制作した映像、7件は既刊の映像で公開許可を得たもの。



箕のかたち 資料集成